

# 株主のみなさまへ

第63期中間報告書 [2017年4月1日～2017年9月30日]



株式会社ビー・エム・エル 証券コード: 4694



医療界に信頼され  
選ばれる企業をめざす

目次

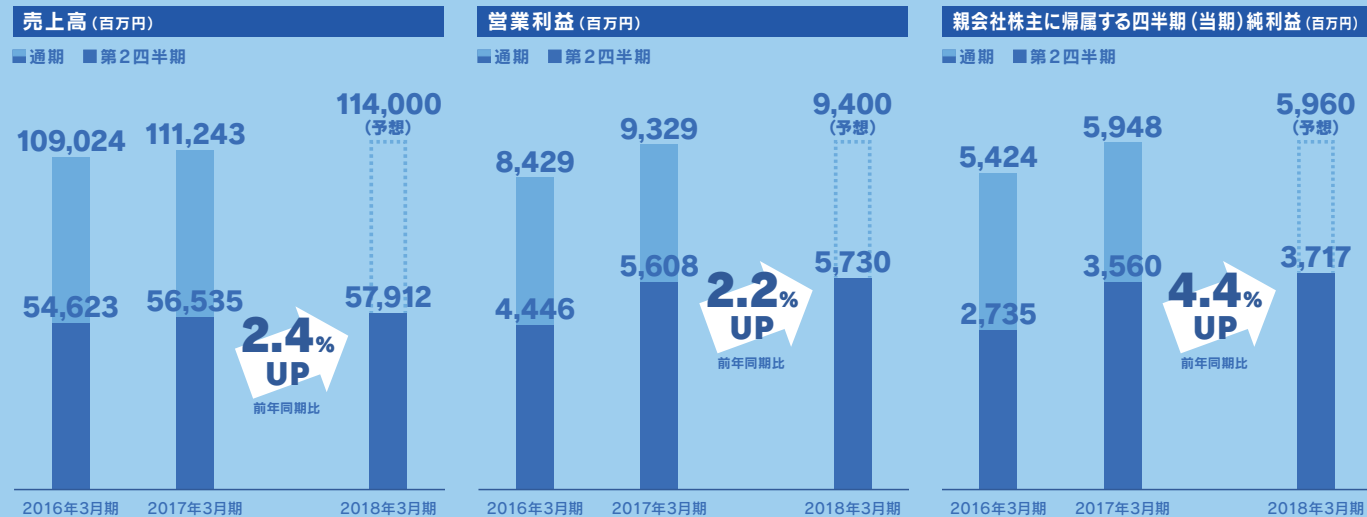
- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 5 連結決算の概要
- 7 特集
- 9 株式の状況
- 10 会社概要

株主のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、第63期中間報告書(2017年4月1日～2017年9月30日)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。



財務ハイライト



当第2四半期連結累計期間の事業環境は、2年毎に実施されている診療報酬改定年度に当たらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引下げはなかったものの業者間競争が続いていることから事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高57,912百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益5,730百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益5,926百万円(前年同期比2.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,717百万円(前年同期比4.4%増)となりました。利益面につきましては、品質・サービスの向上の為に人的投資、設備投資を積極的に実施したことや、雇用の安定などを目的として、非正規従業員に対する処遇改善を実施したことで費用が増加しました。これらの理由により期初計画では前年同期比で減益を見込んでおりましたが、

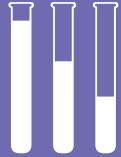
計画を上回る増収により、費用の増加を吸収し、前年同期比で増益となりました。

2017年度は「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」をビジョンとしてスタートした第6次中期経営計画(2015年度～2017年度)の最終年度となりますが、引き続き、中期経営計画のコンセプトであります「業界トップ企業としての基盤構築と強化」をより一層強固なものとするため、BMLグループ一丸となって邁進していく所存でございます。

株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長 近藤 健介

# 営業の概況

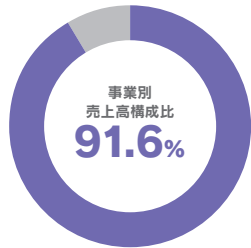


## 臨床検査事業

事業内容

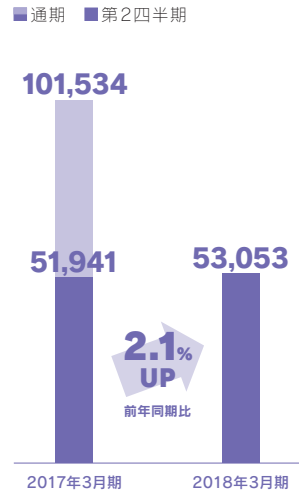
- 臨床検査
- 治験検査

臨床検査、治験検査などを行っています。



業績  
連結  
売上高 **53,053** 百万円

現場と本部の連携を強化し、病院・クリニック市場の開拓を図るとともに、大型施設への提案営業、既存ユーザーへの重点検査項目拡販などの深耕営業、地方ラボ・分離ラボを活用したラボ活用戦略を実施し、業績の拡大を図った結果、増収となりました。

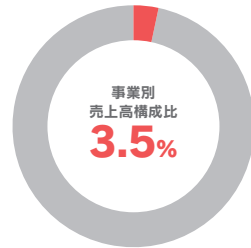


## 食品検査事業等

事業内容

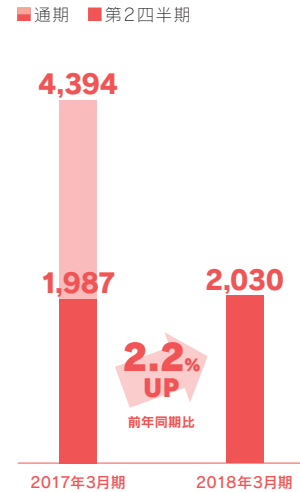
- 食品検査
- 食品衛生コンサルティング
- 環境検査

食品検査、食品衛生コンサルティング、環境検査を行っています。



業績  
連結  
売上高 **2,030** 百万円

(株)BMLフード・サイエンスで、食品検査が好調だったことに加え、ノロウイルス検査、商品品質コンサルティングが堅調であったことから順調に推移し、増収となりました。

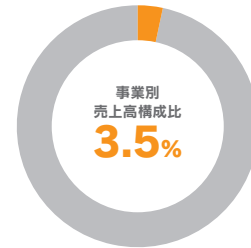


## 医療情報システム事業

事業内容

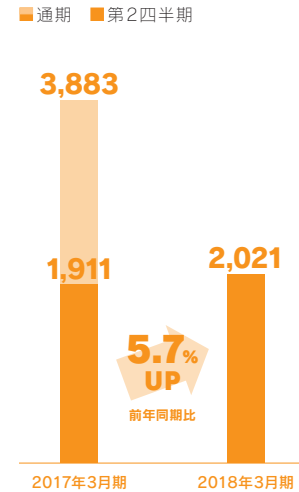
- 電子カルテシステム
- 開発・販売
- 保守サービス

診療所版電子カルテシステム「クオリス」と「メディカルステーション」の販売・保守を行っています。



業績  
連結  
売上高 **2,021** 百万円

診療所版電子カルテ「クオリス」と「メディカルステーション」のラインアップにより、新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレイスを推進し、さらに販社との関係を強化した結果、増収となりました。



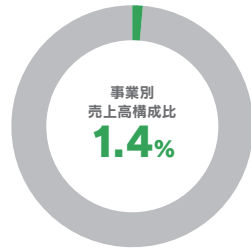
## その他事業

事業内容

- 調剤薬局
- SMO

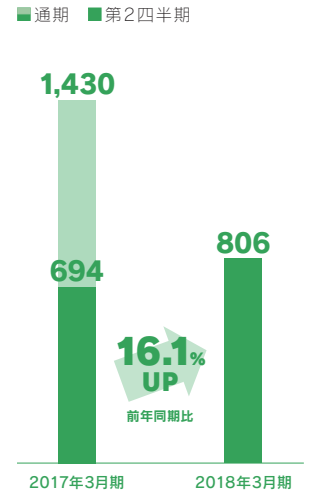
※ SMO：特定の医療機関(治験実施施設)と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関

調剤薬局事業とSMO事業を行っています。



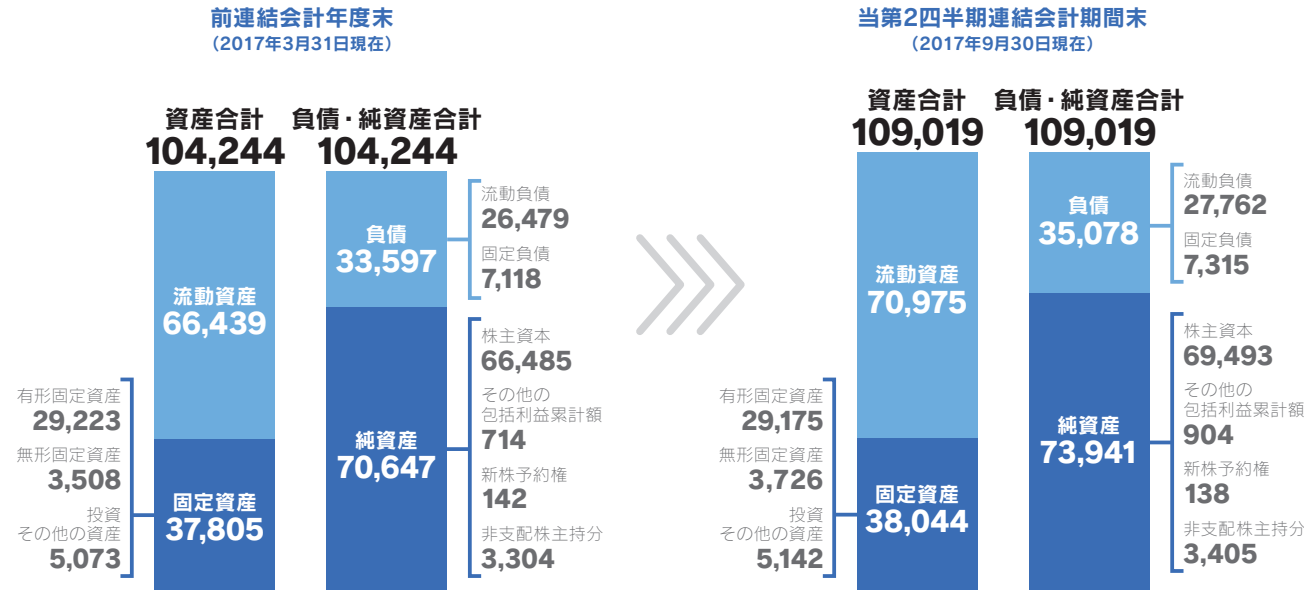
業績  
連結  
売上高 **806** 百万円

(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が、当期4月に開設しました新店舗の売上貢献で増加した結果、増収となりました。





連結貸借対照表の概要 (百万円)



POINT! 資産

現金及び預金が増加したことなどにより、1,090億19百万円(前期末比47億74百万円増)となりました。

POINT! 負債

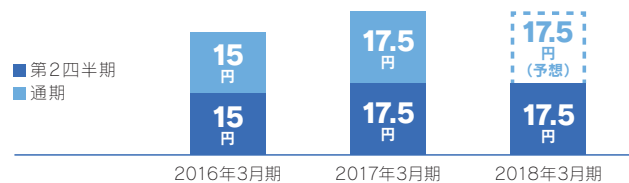
その他固定負債が増加したことなどにより、350億78百万円(前期末比14億80百万円増)となりました。

POINT! 純資産

利益剰余金が増加したことなどにより、739億41百万円(前期末比32億94百万円増)となりました。

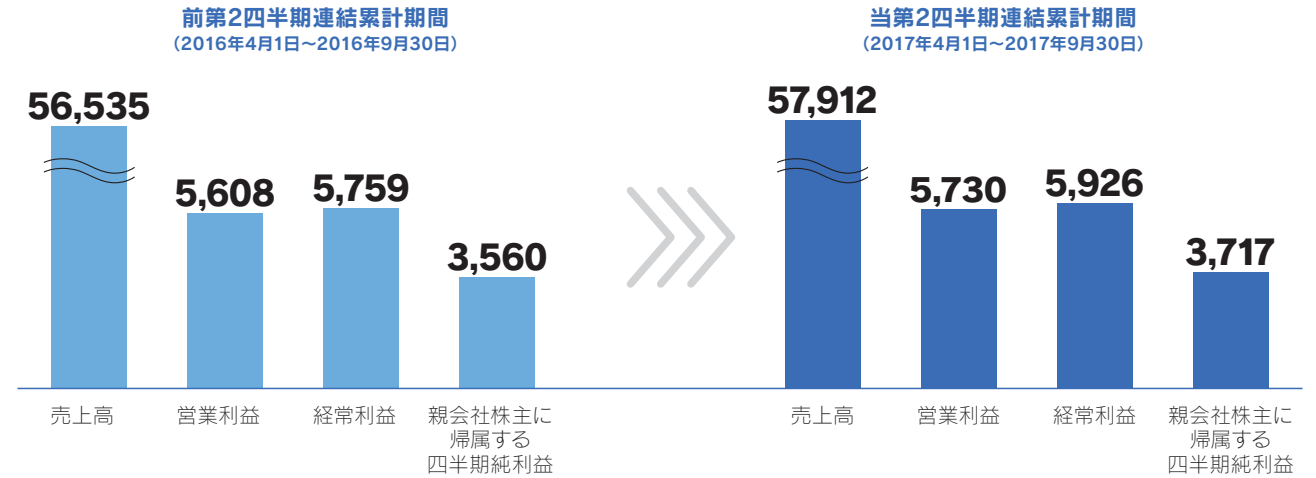
配当について

当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けたく、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の期末配当は17.5円とし、中間配当の17.5円と合わせ年間では、1株当たり35円の配当となる予定です。



当社は2016年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金額を算定しています。

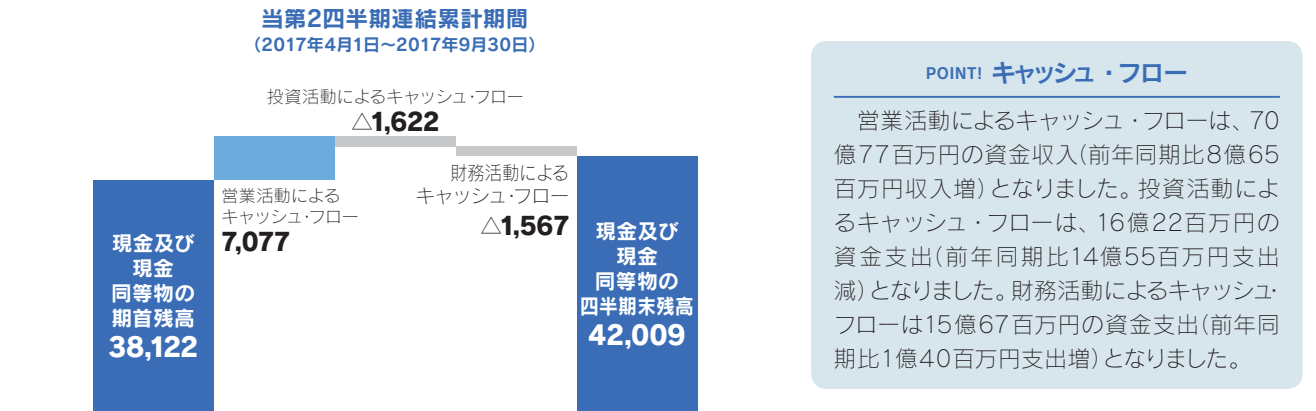
連結損益計算書の概要 (百万円)



POINT! 売上高・営業利益

臨床検査事業をはじめ各事業において売上が堅調に推移したことから前年同期比で増収増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



POINT! キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、70億77百万円の資金収入(前年同期比8億65百万円収入増)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、16億22百万円の資金支出(前年同期比14億55百万円支出減)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは15億67百万円の資金支出(前年同期比1億40百万円支出増)となりました。

# (株) ジャパン クリニカルサービス

当社の連結対象会社の中から、今回は臨床検査検体の集配ならびに報告書のお届け業務、依頼情報入力業務を中心に、事業展開を行っておりますジャパンクリニカルサービスをご紹介します。

医療は日々進出し、高度化しており、この医療を支える臨床検査もさらなる品質向上、迅速化が求められています。

(株)ビー・エム・エルは、この社会的ニーズにお応えしながら、さらにきめの細かなサービスと効率性を追求するため、1973年に検体の集配部門を分社化し、集配の専門会社として(株)ジャパンクリニカルサービスを設立しました。



経営理念  
豊かな健康文化を創造する

(株)ジャパンクリニカルサービスは、創業以来、病院・診療所・クリニックなどの医療機関を主として患者様の臨床検査検体の集配ならびに報告書のお届け業務、医療機関からの検査依頼情報のデータ入力業務を中心とした事業も展開しております。さらに、長年培ってきたノウハウを活かし、東京、大阪、名古屋等の大都市圏の臨床検査検体等を基幹ラボに搬入する業務等、医療機関のニーズにお応えするため、臨床検査検体の集配に関するさまざまなきめの細かなサービスを提供しております。(株)ジャパンクリニカルサービスは臨床検査の品質向上に貢献するため「安全性」「正確性」「迅速性」を第一に、BMLグループの総合力を高められるよ

うさらなるサービス向上をめざしています。

医療業界や患者様のご要望に少しでもお応えできる体制を整え、絶えず正確かつ迅速に、常に昨日よりも質の高いサービスを提供できるように一層の努力を行い、全社一丸となって取り組んでおります。



病院・診療所で検体回収を実施しています。冷凍・冷蔵・常温など、さまざまな回収方法があり、熟練したスタッフが丁寧に対応しています。

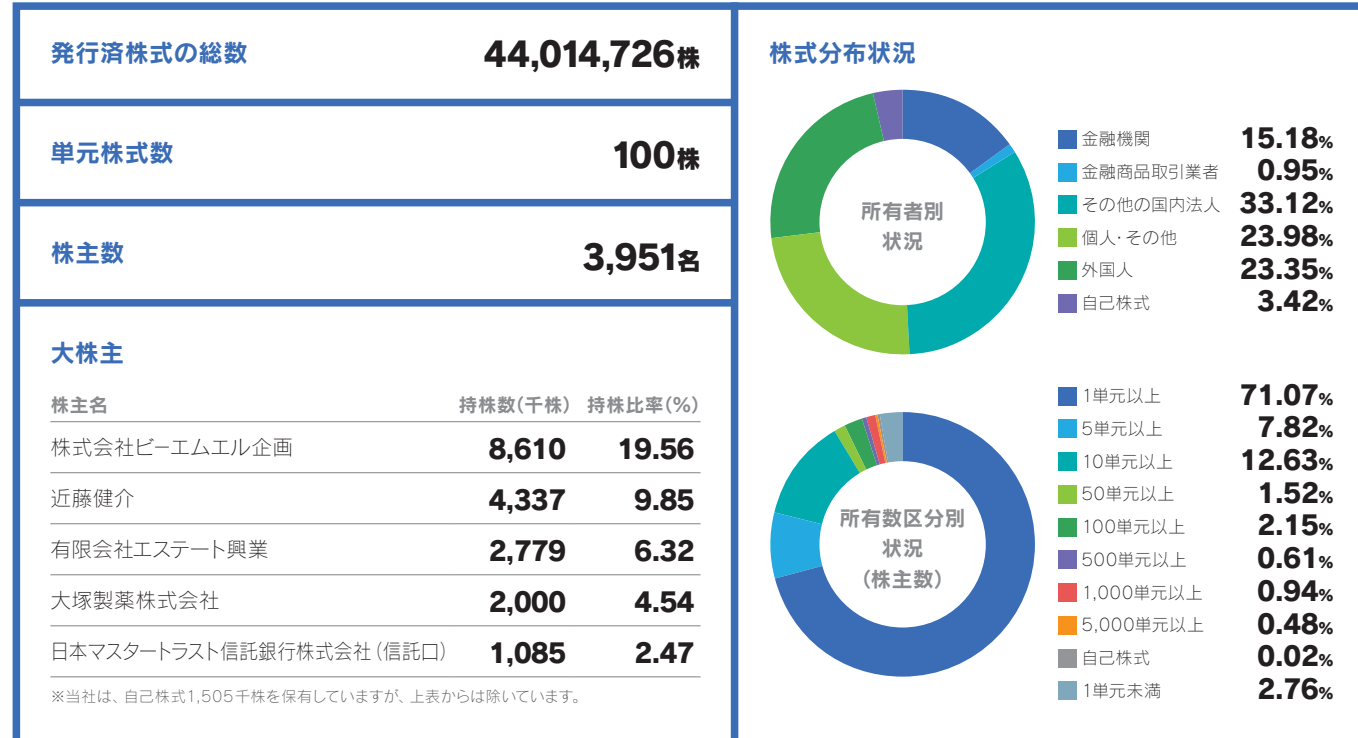
## 会社概要

設立: 1973年  
資本金: 2,000万円  
所在地: 東京都杉並区

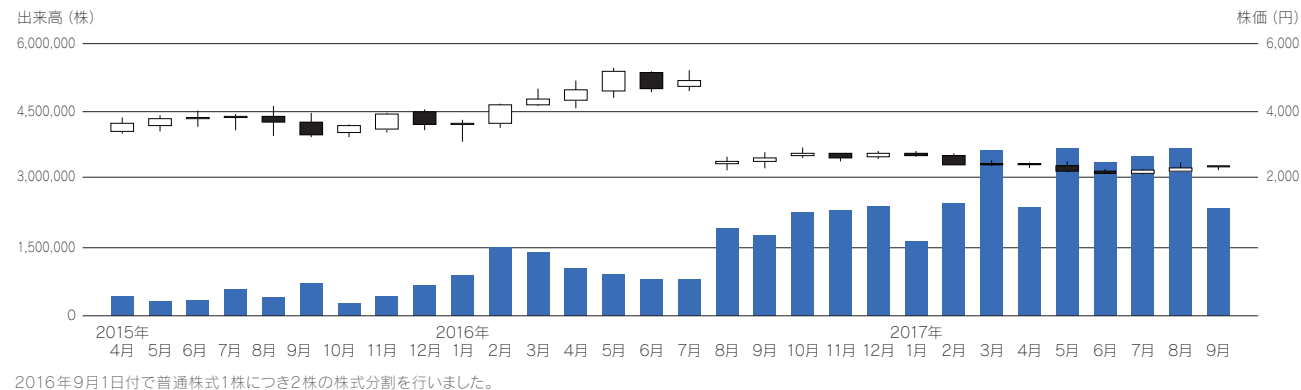
売上: 575,304万円 (2017年3月期)  
従業員数: 1,418名 (2017年3月末)



## 株式の状況 (2017年9月30日現在)



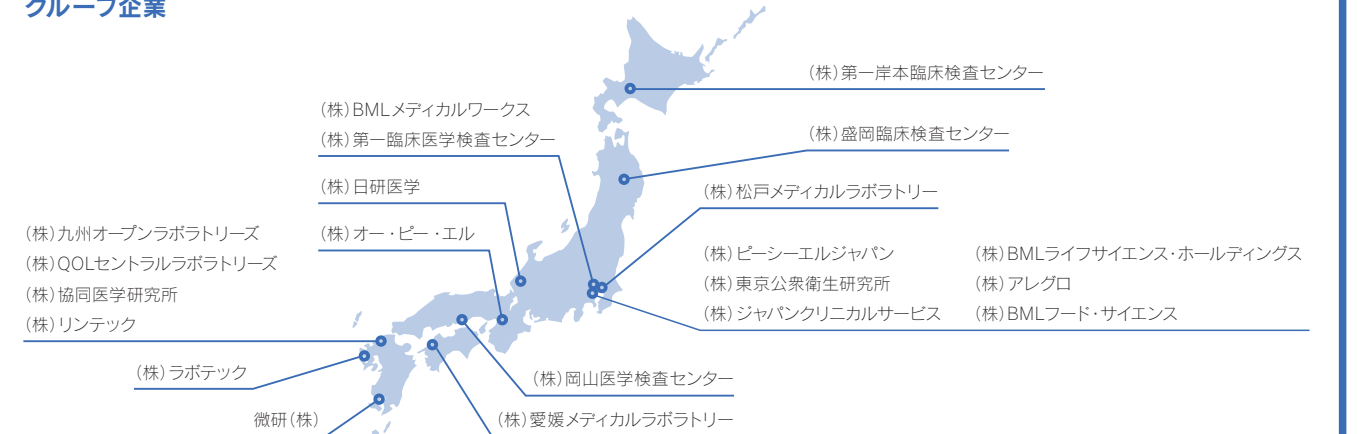
## 株価チャート



## 会社概要 (2017年9月30日現在)



## グループ企業



## 血液化学課

BML総合研究所では、尿・髄液・穿刺液(腹水・胸水等)・精液などの体液検査、血液型や凝固・線溶検査などの血液学検査のほか、大腸がん検査・糖尿病検査などの健康診断検査も自動分析装置及び搬送ラインにより自動化され、迅速に検査結果を報告しています。



自動分析システムと搬送ライン

こんな検査の  
役にたってます!!

- 血液型検査
- 凝固・線溶検査
- 大腸がん検査
- 糖尿病検査
- 腎機能検査

など

### 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会権利行使株主確定 3月31日 株主配当金受領株主確定 3月31日 中間配当金受領株主確定 9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 (〒103-8202) 株式会社手続き用紙のご請求をインターネット でもお受け付けいたしております。 URL <a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>

### 各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(※)にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行(※)へお申出ください。  
(※) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本店でも行っております。

### (電話お問合せ・郵便物送付先)

日本証券代行株式会社  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-8620)  
0120-707-843(フリーダイヤル)